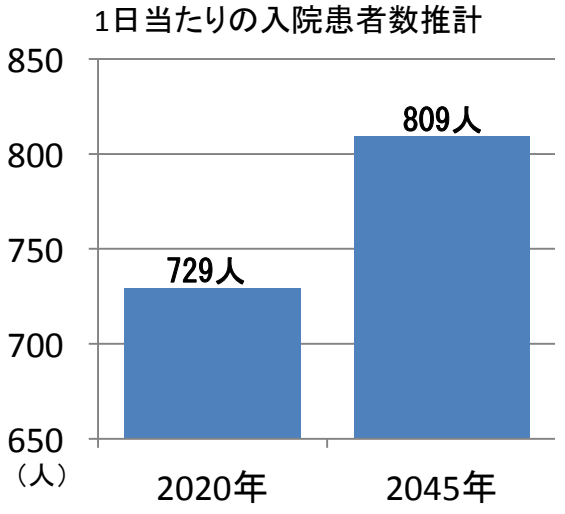
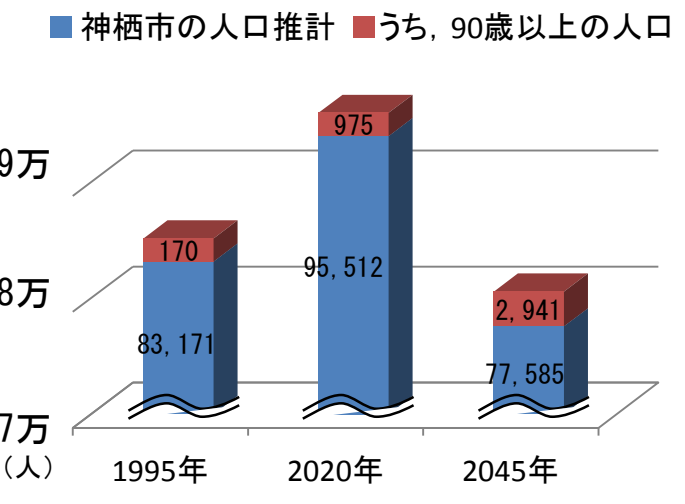


まちづくり懇談会資料(地域医療の推進)

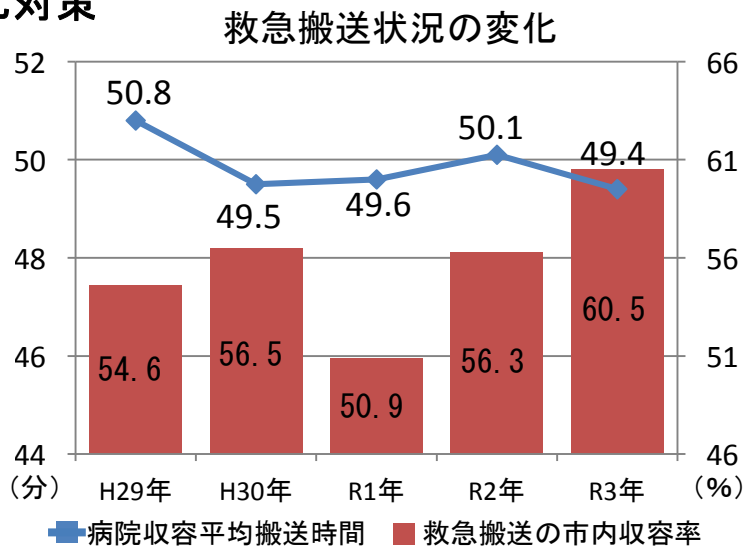
1 人口と患者数



2 地域医療体制の整備

(1) 救急医療体制の充実強化対策

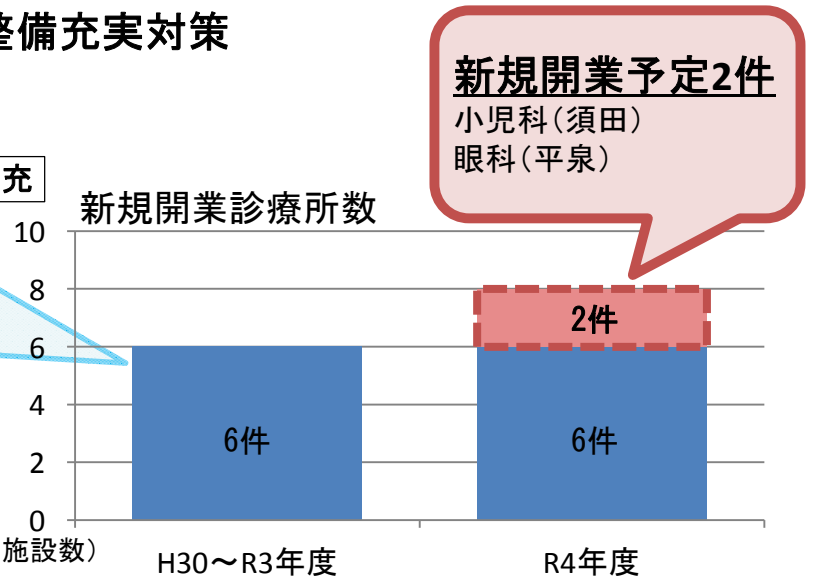
- 【取組内容】
- 緊急医療対策チームの設置
 - ・救急隊と受入先のホットライン設置
 - ・受入先分担表の作成
 - 救急医療ワーキングチーム会議
 - ・受入おことわりの解消
 - ・受入体制強化
 - ・受入先での救急車の待機解消
 - ・転院搬送の新ルールづくり



(2) 診療所の開業促進・整備充実対策

- 【取組内容】
- 開業資金貸与制度の創設
 - 診療体制強化支援制度 **R4拡充**

- 新規開業6件**
- 内科(土合2件)
 - (太田)
 - (大野原)
 - 内科・皮膚科(神栖)
 - 小児科(深芝)



(3) 市内拠点病院の体制整備促進

—背景・意義—

I 地域医療体制検討委員会からの提言

・24時間365日対応の二次救急体制の受入拠点として済生会、白十字に期待

II 市民・企業からの要望

・救急・災害拠点機能、労災機能、専門医療機能を充実させるとともに地域密着型の拠点病院として済生会、白十字2つの病院の強化を要望

III 鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議での合意に基づく2つの拠点病院の体制整備

・神栖済生会病院 → 再編統合の実現による救急医療体制の充実

・白十字総合病院 → 回復期機能も有する病院として非常に有益

IV 病院と診療所の連携促進

・円滑な入院受入等につながる病病・病診連携の取り組みを促進

V コロナ禍において重要な役割を担っている2つの拠点病院の強化充実

・新型コロナウイルス感染症への対応(感染患者の受入、ワクチン接種)

・安定した救急患者の受入体制の維持

① 神栖済生会病院整備支援(再編統合の推進)

ア 新病院の整備内容

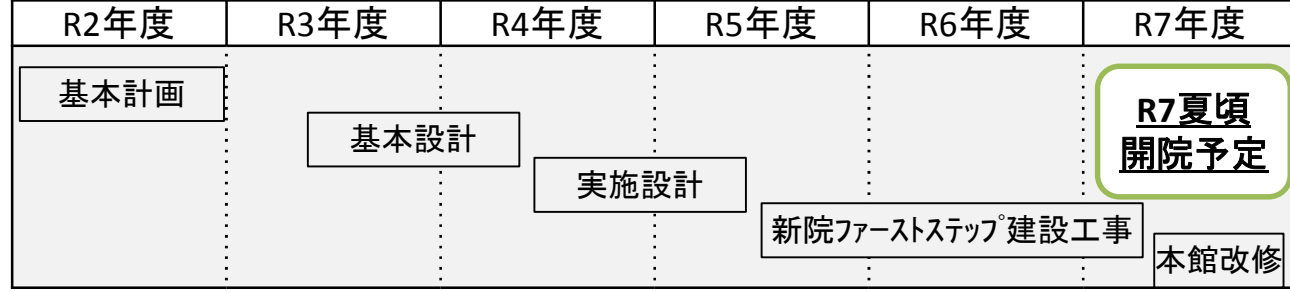
診療機能の拡充

- ・救急医療 (二次救急・小児救急拠点)
- ・災害拠点機能
- ・専門医療機能(消化器疾患、整形外科疾患センター化構想)

病床の増床

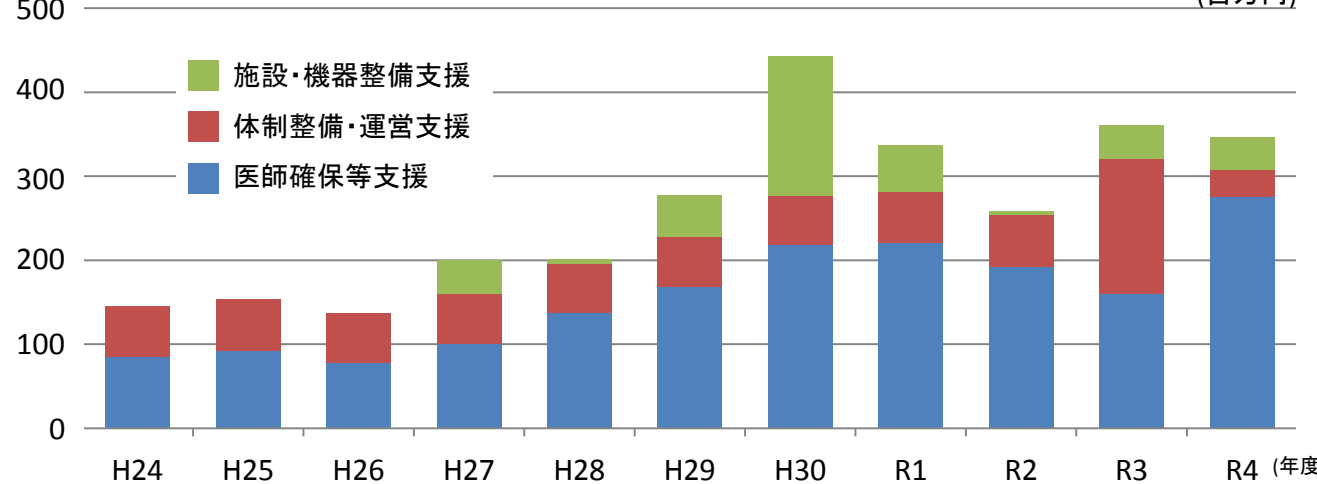
- ・現行179床
- ・ファーストステップ233床
- ・セカンドステップ350床

イ 新病院の開院までのスケジュール[令和4年4月現在]



ウ 神栖済生会病院への財政支援(平成20年度~令和4年度)

(百万円)



(5) 神栖市若手医師きらっせプロジェクト事業

	医学生向け	研修医・専攻医向け	若手医師向け	指導医向け	情報発信
研修プログラムの充実		専門医プログラムの拡充			
地域特性を活かした研修メニュー開発	市内の地域医療学習サポート 病院合同説明会	産業医資格取得セミナー開催(市内勤務医助成)		独自セミナー、研修プログラム(開発中) (例)スポーツのまちを活かした整形外科研修	ホームページ
教育研修活動支援 ・指導体制の充実 ・支援体制の強化	修学資金貸与制度		専任医療クラーク配置支援 指導手当支給	研修費支援 国内外研修(学会等)派遣費用支援 海外留学派遣支援 交流会の開催	メルマガ 全国誌掲載 パンフレット チラシ 合同説明会 出展
就業支援・雇用促進		研修医等生活費支援	指導医等赴任手当支給	医師Uターン推進事業費補助金 医師確保事業補助金 地域赴任医師支援金 診療所開業資金貸与制度	

※表中の水色の制度は、令和2年度以降の新規事業です。

②白十字総合病院整備支援

ア 情報環境整備支援(R2~R3年度)

・若手医師に対する教育研修環境の充実を図ること等を目的とした、統合情報システム導入整備支援(170,000千円)

イ 新病棟整備支援(医療機能分化・連携再構築整備支援制度の創設) R4新規

- ・国の動向 医療機関の役割分担と病病, 病診連携強化を求めている
- ・鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議等での意見を踏まえた市内の医療体制整備を支援
- ・白十字総合病院の回復期, 慢性期病棟の建替整備等を支援(約660,000千円)

建替整備スケジュール

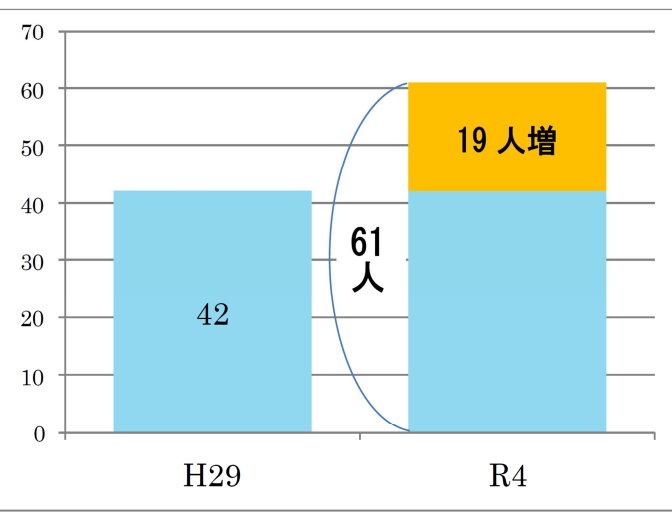
R4年度	R5年度	R6年度
基本設計 実施設計		R6年度完成予定
建設工事		

総病床数 304床		
	新棟	本館
急性期	34	140
回復期	40	
慢性期	90	

※医療機能分化・連携再構築整備事業は、地域医療構想調整会議において一定の役割を期待されている機能強化を担う医療機関を支援

(4) 人材育成・確保

市内研修医療施設の常勤医師数の推移 (神栖済生会病院, 白十字総合病院, 鹿嶋ハートクリニック)



- #### 医師確保に向けた支援制度
- ・地域赴任医師支援制度(R3創設~)
 - ・指導医赴任手当(R3創設~)
 - ・Uターン医師支援制度(実績3人)
 - ・医師修学資金貸与制度(実績9人)
 - ・寄附講座の設置
筑波大学 2人(循環器内科1人, 総合診療科1人)
日本医科大学 5人(外科4人, 形成外科1人)
順天堂大学 2人(整形外科2人)

R4新規
神栖済生会病院の整形外科の体制強化
R4年4月から順天堂大学の整形外科医2名が寄附講座により赴任し、地元出身医師と合わせ常勤医師3人体制に強化

R4新規
看護師の合同就職説明会の開催
対象者：看護師資格を持っているが転勤や婚姻等をきっかけに看護職を離れている方や、新規の就業希望者等
開催方法：県看護協会や市内二次救急病院等との連携協力のもと、就職希望者と医療機関による面談会を実施

R4新規
ドクターバス等運行試行事業
医師多数区域であるつくば地域と、当市の医療機関を結ぶ交通手段の確保に向けたドクターバス等の運行に係る調査の実施
当直明け医師や運転に不慣れな医師等への安全・安心な交通手段の提供を目指す。

(6) 医療教育へのチャレンジ R4新規

学習指導要領を踏まえ学校教諭, 医療従事者, 市職員により授業プランを検討
 ・命の尊さ, 弱者を思いやる心を育む } 「一斉講義」, 「グループ討議」
 ・将来の地域医療を担う人材育成 } 「実技演習」など
 R4は試行事業として、小・中学校1校ずつで実施

(7) 企業・医療機関・行政の相互連携の強化 R4新規

直面する課題の解決方策の検討や、連携した取り組みの円滑な実施のため新たに連絡調整会議を設置(連絡調整会議, 幹事会議)
 ○企業・・・東部, 西部, 波崎地区幹事会社の工場長など
 ○医療機関・・・二次救急病院長, 鹿島医師会神栖支部長, 産業医等
 ○行政・・・市長, 潮来保健所長